## 平成23年度 学校支援の実践例



テーマ

学校·園名
School name

講師等 Lecturer etc.

> 実施日 Date

教科等 Subject etc. 「職場体験学習に向けて職業講話」

野洲市立野洲北中学校(2年生)

滋賀ダイハツ販売株式会社

平成 23 年 6 月 16 日

総合的な学習の時間

授業 Class 職場体験を間近に控えた生徒たちに、社会の第一線で活躍されている社長さんが「働くことの意義」と 題して、その厳しさや喜びについて様々な話をしてくださいました。

まず、「働くとは『はた』 = 周りの人を『らく』 = 楽にすること」で、技術の進歩もこの働くことの成果とのお話でした。また、「『してもらう幸せ』『できる幸せ』『してあげる幸せ』の3つの幸せの内、みなさんは『してあげる幸せ』を感じられるようになってください」「そのことが、職場体験、さらには実社会に出て行ったときに役立つのです」とのアドバイスをいただきました。







Impression

## 生徒より Impression from Children

職場体験ではがんばろうと思いました。お話がとても役に立ちました。

社長さんの会社では通常の仕事だけでなく、社会貢献などいろいろなことをされていることがわかりました。

「人生の中に仕事」ではなく、「仕事の中に人生」ということは難しいと思いました。

働くことには苦しいことだけでなく、喜びもあることがわかりました。

## Impression from school

依頼から実施までスムーズにことが運び、安心して当日を迎えることができました。講話の内容もとてもわかりやすく、またプレゼンテーションを使用されて、生徒たちも理解しやすかったと思います。

これからも、地域の方の力をいろいろな場面で、お借りしたいと思っております。ご支援をよろしくお願いいたします。

## Impression from lecturer

中学生を対象としたお話では、どのような内容でいかに伝えれば、より良く理解していただけるか、と言うことに難しさを感じております。

そのためにも、お話の内容について、学校側ともう少し詳細な打ち合わせをすることの必要性を、今回、あらためて感じました。